



第 85 期  
報 告 書

(令和 2 年 3 月 1 日から  
令和 3 年 2 月 28 日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年3月1日より社長に就任いたしました岡谷健広でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

当社第85期（令和2年3月1日から令和3年2月28日まで）につきまして、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

令和3年5月

代表取締役社長

岡谷 健 広



## 営業の概況

### ◆ 営業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い景気が大幅に悪化しましたが、年央からの各国の景気対策や中国経済の立ち直りにより持ち直しが見られました。しかしながら、感染再拡大の影響もあり本格的な回復には至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境において、当社グループの上期の業績は落ち込みましたが、製造業の生産活動の回復に伴い下期にかけて業績が上向きました。

その結果、通期においては、連結売上高は7,604億円で前期比13.2%の減収となりました。

損益につきましては、営業利益は135億84百万円（前期比28.6%減）、経常利益は182億98百万円（前期比20.5%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は124億29百万円で、前期比20.7%の減益となりました。

## 営業の概況

当期において、国内では地域密着の拠点として岡山営業所を開設し、海外では子会社の六合エレメック株式会社がROKUGO ELEMEC (THAILAND) CO., LTD.を設立してグループ総合力の強化を図りました。

### ◆ 経営環境及び対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルスの影響で世界経済及び日本経済ともに先行き不透明な状況ですが、各国の継続的な景気対策と感染拡大の収束に向けた活動により、全体として緩やかな回復に向かうことが期待されます。

これを事業のセグメント別に見ると以下の通りとなります。

#### (鉄鋼)

国内の建設関連などに回復の遅れがみられるものの、国内外における製造業の生産回復を受け、堅調な鋼材需要が見込まれます。

#### (情報・電機)

インフラ投資の回復遅れと半導体を中心とした供給不足の影響が懸念されますが、自動車、通信、家電向けなど部品、材料ともに堅調な需要が見込まれます。

#### (産業資材)

一部設備投資は依然低調が予想されますが、自動車の生産回復に伴い機械・部品・工具・樹脂原料等の回復が見込まれます。

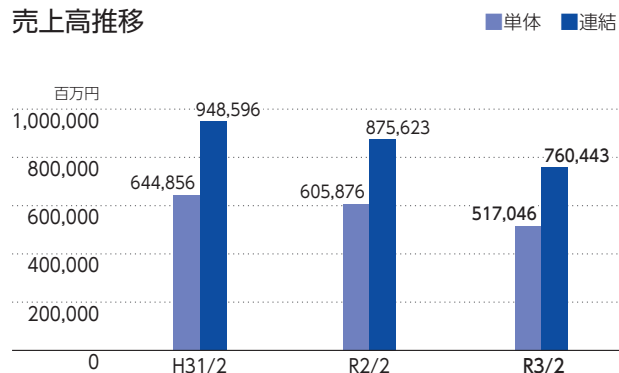
#### (生活産業)

建設投資回復の遅れが懸念されますが、都市圏における再開発物件の立上りによる荷動きの活性化、巣ごもり需要による輸入食品等の増加が見込まれます。

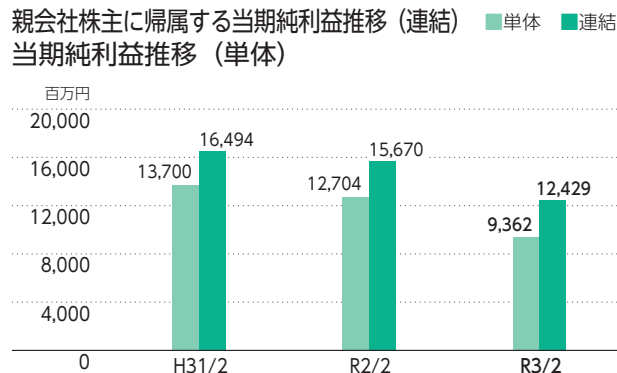
このような経営環境において、岡谷鋼機グループはグローバル市場において次世代自動車、DX（デジタル・トランスフォーメーション）、脱炭素社会など時代の変化や取引先のニーズを的確に掴み、内部統制の強化・コンプライアンスの徹底と企業の社会的責任を重視しながら、グループ総合力を強化して企業価値の更なる向上に努めてまいります。

# 財務ハイライト

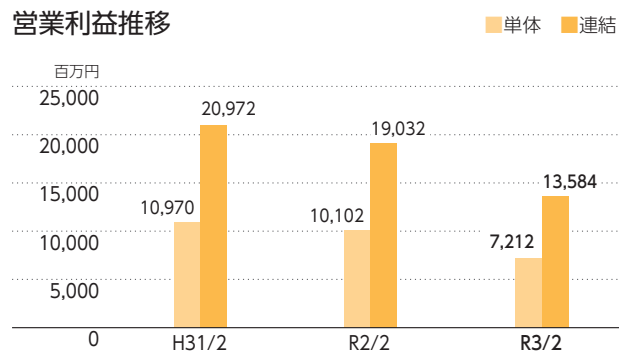
## 売上高推移



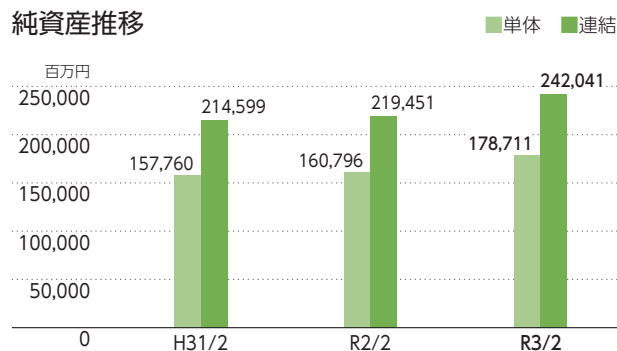
## 親会社株主に帰属する当期純利益推移 (連結) 当期純利益推移 (単体)



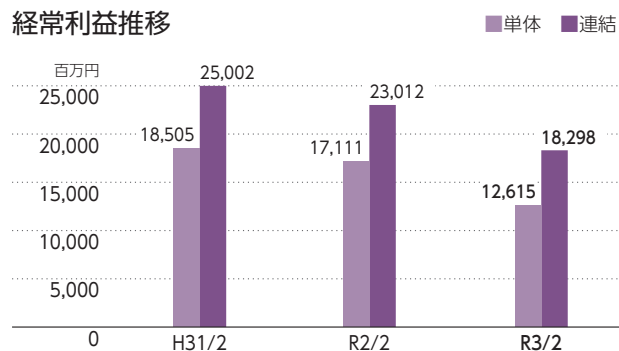
## 営業利益推移



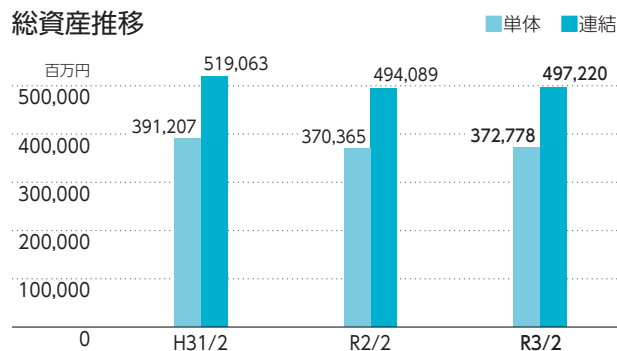
## 純資産推移



## 経常利益推移



## 総資産推移



(注) H31/2期については、会計方針の変更を遡及適用しています。

# トピックス

## 1. 六合エレメック株式会社がタイ現地法人を設立

当社子会社の六合エレメック株式会社は、令和2年3月にタイ国バンコク市に「ROKUGO ELEMEC (THAILAND) CO., LTD.」を設立しました。タイ国内及び周辺国においてユーザーに密着した営業活動を強化し、メーカー機能を有する商社として産業用電気・電子機器の取引拡大を図っています。



## 2. 岡山営業所を開設

岡山県周辺及び山陰地区並びに四国地区における自動車・プラント関連分野等のビジネス拡大のため、令和2年3月に新たに岡山営業所を開設しました。



## 3. 名古屋市港区空見町の土地取得

令和2年3月に、名古屋市港区空見町に約6,495坪の土地を取得しました。今後、新たな物流基地等としての活用を検討します。

## 4. 名古屋大学オープンイノベーション拠点(OICX)に対する寄付

産学連携による地域活性化並びに学生ベンチャーの支援・育成を目的に平成29年6月に開設した本拠点に対して、拠点開設時に引き続き、令和2年6月に今後3年間の運営活動費の寄付を行いました。



## 5. 義援金寄付

令和2年7月豪雨による被災者に対する義援金として、グループ会社とともに100万円を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。また、当社社員向け保養所があります長野県木曾町に対しても寄付を行いました。

## 6. 小学生サッカー大会「OKAYA CUP」開催

令和元年に、社会貢献活動の一環として公益財団法人愛知県サッカー協会の小学生男女サッカー大会に協賛し、「OKAYA CUP」を開始しました。令和2年より、愛知県大会に加え、岐阜県大会、三重県大会、更に東海大会も開催しました。

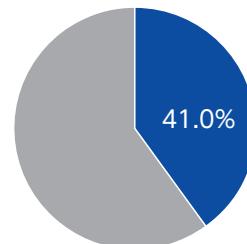
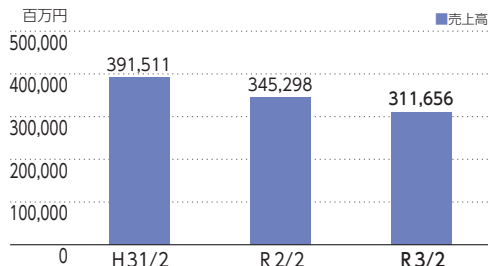


# セグメント情報

## 鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他



鉄鋼部門は、鋼材需要の落ち込みが影響し建材関連や製造業向けが減少しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の減産の影響を受け、国内外で販売が大幅に減少しました。

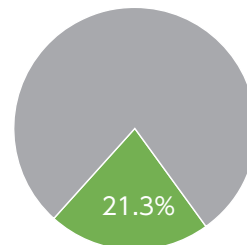
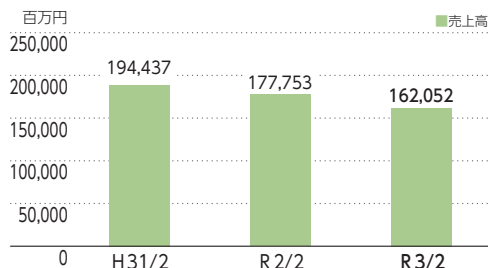
海外は、一部中国向けの輸出は増加しましたが、米国及びアジア向けを中心に減少しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、3,116億円で前期比9.7%の減収となりました。

## 情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他



非鉄金属部門は、銅価格の上昇に加え、一部の電子部品用材料は増加しましたが、車載部品用材料が減少しました。

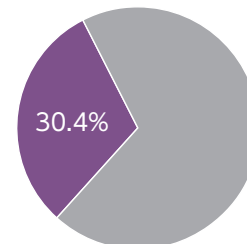
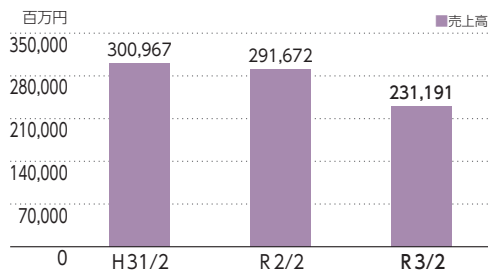
エレクトロニクス部門は、PC・通信関連製品等は増加しましたが、FA・OA、設備機器及び車載部品が減少しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,620億円で前期比8.8%の減収となりました。

## 産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器、航空機部材、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品 他



化成品部門は、一部中国では自動車関連が増加しましたが、原材料価格の下落に加え、住設向け等の樹脂原料が減少しました。

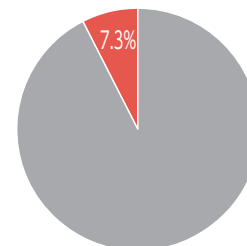
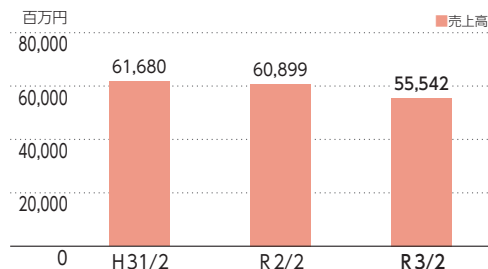
メカトロ部門は、車載部品は増加しましたが、部品・工具の減少に加え、自動車関連を中心に設備が大幅に減少しました。

産業資材セグメントの売上高は、2,311億円で前期比20.7%の減収となりました。

## 生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他



配管建設部門は、住宅機器向け部材が増加しましたが、エネルギー関連及び配管機材類が減少しました。

食品部門は、水産物及び鶏肉の輸入取引がともに減少しました。

生活産業セグメントの売上高は、555億円で前期比8.8%の減収となりました。

# 連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (令和3年2月28日現在)	前 期 (令和2年2月29日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	290,935	311,762
固定資産	206,284	182,326
有形固定資産	44,308	39,868
無形固定資産	2,288	1,577
投資その他の資産	159,687	140,880
資産合計	497,220	494,089
<b>負債の部</b>		
流動負債	198,217	221,350
固定負債	56,962	53,287
負債合計	255,179	274,637
<b>純資産の部</b>		
株主資本	169,318	159,105
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	152,860	142,646
自己株式	△ 468	△ 467
その他の包括利益累計額	62,475	50,330
その他有価証券評価差額金	59,304	48,068
繰延ヘッジ損益	21	66
為替換算調整勘定	△ 36	142
退職給付に係る調整累計額	3,186	2,053
非支配株主持分	10,247	10,015
純資産合計	242,041	219,451
負債純資産合計	497,220	494,089

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (令和2年3月1日から 令和3年2月28日まで)	前 期 (平成31年3月1日から 令和2年2月29日まで)
売上高	760,443	875,623
売上原価	707,118	814,521
売上総利益	53,324	61,101
販売費及び一般管理費	39,739	42,069
営業利益	13,584	19,032
営業外収益	6,531	6,501
営業外費用	1,817	2,521
経常利益	18,298	23,012
特別利益	381	185
特別損失	290	384
税金等調整前当期純利益	18,389	22,814
法人税、住民税及び事業税	5,030	6,055
法人税等調整額	501	481
当期純利益	12,857	16,277
非支配株主に帰属する当期純利益	428	606
親会社株主に帰属する当期純利益	12,429	15,670

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

当 期 (令和2年3月1日から 令和3年2月28日まで)	株主資本					その他の包括利益累計額						非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
令和2年3月1日残高	9,128	7,798	142,646	△ 467	159,105	48,068	66	142	2,053	50,330	10,015	219,451	
当期の変動額													
剰余金の配当			△ 2,215		△ 2,215							△ 2,215	
親会社株主に帰属する当期純利益			12,429		12,429							12,429	
自己株式の取得				△ 2	△ 2							△ 2	
自己株式の処分		0		0	0							0	
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0		0	0							0	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						11,235	△ 45	△ 179	1,132	12,144	232	12,377	
当期の変動額合計	—	0	10,214	△ 1	10,212	11,235	△ 45	△ 179	1,132	12,144	232	22,589	
令和3年2月28日残高	9,128	7,798	152,860	△ 468	169,318	59,304	21	△ 36	3,186	62,475	10,247	242,041	

（注）記載金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



# 単体財務諸表

単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (令和3年2月28日現在)	前 期 (令和2年2月29日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	190,171	208,200
固定資産	182,606	162,165
有形固定資産	30,160	26,337
無形固定資産	688	731
投資その他の資産	151,757	135,095
資産合計	372,778	370,365
<b>負債の部</b>		
流動負債	143,730	161,963
固定負債	50,336	47,604
負債合計	194,066	209,568
<b>純資産の部</b>		
株主資本	120,492	113,347
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	104,019	96,872
自己株式	△ 453	△ 451
評価・換算差額等	58,218	47,449
その他有価証券評価差額金	58,187	47,380
繰延ヘッジ損益	31	69
純資産合計	178,711	160,796
負債純資産合計	372,778	370,365

単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (令和2年3月1日から 令和3年2月28日まで)	前 期 (平成31年3月1日から 令和2年2月29日まで)
売上高	517,046	605,876
売上原価	492,337	577,312
売上総利益	24,709	28,564
販売費及び一般管理費	17,497	18,461
営業利益	7,212	10,102
営業外収益	6,905	8,682
営業外費用	1,502	1,674
経常利益	12,615	17,111
特別利益	236	33
特別損失	292	790
税引前当期純利益	12,559	16,354
法人税、住民税及び事業税	2,898	3,186
法人税等調整額	298	463
当期純利益	9,362	12,704

単体株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

当 期 (令和2年3月1日から 令和3年2月28日まで)	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
令和2年3月1日残高	9,128	7,798	96,872	△ 451	113,347	47,380	69	47,449	160,796
当期の変動額									
剰余金の配当			△ 2,215		△ 2,215			—	△ 2,215
当期純利益			9,362		9,362			—	9,362
自己株式の取得				△ 2	△ 2			—	△ 2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—	10,806	△ 37	10,769	10,769
当期の変動額合計	—	0	7,146	△ 1	7,145	10,806	△ 37	10,769	17,914
令和3年2月28日残高	9,128	7,798	104,019	△ 453	120,492	58,187	31	58,218	178,711

（注）記載金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

当社は、世界市場の中で、ものづくりに貢献する活動を通じて、あらゆるステークホルダーに受け容れられる企業であり続けたいと考えます。地球市民としての自覚を持ち、地球環境に配慮した視点で、『グローバル最適調達パートナー』としての総合力を発揮することにより社会的責任を果たし、持続的発展を目指してまいります。

## ◆ 当社のCSRに対する基本的な考え方

1. 持続可能な成長を目指し、社会的責任を果たすとともに、経営品質の継続的改善、内部統制の充実・強化に努めることにより、企業価値を高める。
2. 株主に対して、最大限の還元を行うべく努力する。
3. 国の内外を問わず人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守する。
4. 岡谷鋼機グループ環境方針に則り、自主的、積極的に行動する。
5. 社員に対して、公正な処遇を実施し、多様な自己啓発の機会を提供する。
6. 良き地球市民として、地域および社会に対し貢献活動を行う。

※これらの内容は「企業行動憲章」にも記載されております。全文は当社ホームページをご参照ください。( <https://www.okaya.co.jp/> )

## ◆ 当社のCSRのルーツ

天保7年（1836年）秋、6代惣助は笹屋の経営方針および日常の心得として「店則」「家則」などを掲げ、さらに毎朝就業前に全員で唱和する「日誦五則<sup>にっしょうごそく</sup>」を定め、実践しました。これらは、現代におけるCSRの精神に相通じるものであり、笹屋の店員としての業務・営業姿勢を方向付け、商いの繁栄に寄与したと考えられております。

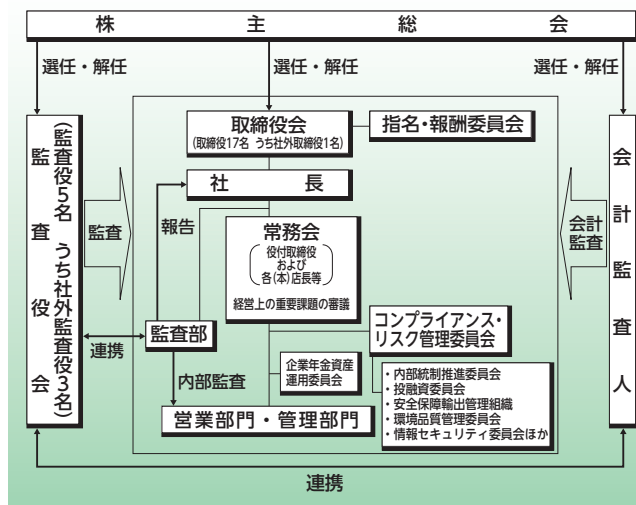
# 岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

## ◆ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、商社としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けております。社員一人一人の行動が、当社への信頼を生み出し持続的な成長をもたらす重要な要素と認識し、より高い倫理観に根ざした事業活動を行う企業風土の構築を目指しております。

また、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

【コーポレート・ガバナンス体制図】



## ◆ 経営品質の向上について

「サービス品質」の向上を図りお客様のご要望、ご期待に応えるべく、当社では品質方針を掲げ品質マネジメントシステムを全社システムとして構築し、ISO9001の認証を取得しております。当社以上の規模の商社において、全社的なISO9001の認証取得は他にあまり例がありません。今後とも品質マネジメントシステムの運用を通じて、「サービス品質」および「業務品質」を向上させ、さらには「経営品質」を高めてまいります。

## ◆ コンプライアンスについて

社内にコンプライアンス・リスク管理委員会を設け、コンプライアンスの徹底と実践に努めております。また、社会から信頼される企業であり続けるために法令遵守と企業倫理について具体的に記載した「コンプライアンスマニュアル」を作成し、全社員に配布するとともに、各種講習会を開催し、法令遵守に努めております。

# 岡谷鋼機のCSR—社会的側面—

## 〔社員とともに〕

### ◆ 女性の活躍推進への取組

平成29年1月に名古屋市より、「子育て支援企業」（子育てにやさしい活動に取り組んでいる企業）、および「女性の活躍推進企業」（女性の活躍推進に取り組んでいる企業）のダブル認定を受けております。

### ◆ SDGsへの取組

持続可能な社会の実現に貢献するため、環境技術を活用した金属資源の再利用やフードバンクへの食糧品寄付・ボランティア活動等を行っております。

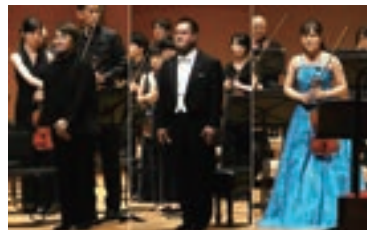
## 〔地域とともに〕

### ◆ 三重県紀宝町でのボランティア

平成25年以降、浅里地区において田植えや稲刈りなどのボランティア活動を行っております。過疎化、高齢化が進む同地区と「農山村活性化の取組に関する協定書」を締結し、継続的な支援活動や交流を行っております。

### ◆ チャリティーコンサート開催

今回で8回目となる「OKAYAチャリティーコンサート2020～感謝の夕べ～」を無観客にて開催し、その模様をテレビ放映およびインターネット配信しました。子どもと家族への緊急支援・協力を含め、合計300万円を社会福祉法人中央共同募金会および愛知県共同募金会に寄付しました。



チャリティーコンサート

### ◆ 中川配送センターが「まちなみデザイン賞」を受賞

建替えにあたり昭和初期の倉庫群を想起させる外観としたことが特に評価され、名古屋市より選定されました。

### ◆ 岡谷エレクトロニクス株式会社が「地域未来牽引企業」に選定

成長が見込まれる地域経済の中心的な企業として、経済産業省より選定されました。



中川配送センター

# 岡谷鋼機のCSR—環境的側面—

当社は、地球環境と事業活動との密接なかかわりをよく認識のうえ、地球環境の保全と経済社会の持続的な発展を常に念頭に置き、環境への取組みを進めております。

## ◆ 環境ISO14001認証の取得

当社は平成11年9月に環境宣言を行い、それ以降、岡谷鋼機グループ環境方針に沿って環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動に取り組んでおります。平成12年6月に審査登録機関LRQA（ロイド・レジスター社）の審査に合格し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以降、引続きグループ会社を含め認証サイトを拡大しております。

【ISO14001グループ認証書】



## ◆ 継続的改善に向けて

当社では、環境品質管理規程に則り、PDCAサイクルによる活動を実施し継続的改善に取り組んでおります。

活動状況は、内部監査員による監査および外部審査機関による審査で毎年確認し、その結果を経営層に報告して見直し・改善を行います。

## 利益配分に関する基本方針および株主優待について

### 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

### 2. 株主優待

当期（令和3年2月期）株主優待として、期末保有株式数100株以上の株主様に、《愛知県産米山の幻ミネアサヒ\*5kg》をお贈りいたします。

また、第2四半期末保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米山の幻ミネアサヒ\*5kg》をお贈りいたします。

※令和2年産米の食味ランキングにて最高位「特A」を愛知県産米で初めて取得しました。

なお、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の最終株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、毎年2月末日現在における最終株主名簿に記載された保有株式数100株以上の株主様に対して、『図書カード』2,000円相当を、および毎年8月末日現在における最終株主名簿に記載された保有株式数100株以上の株主様に対して、『図書カード』1,000円相当をお贈りいたします。



# 会社概要 (令和3年2月28日現在)

## 会社概要

商号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所在地	名古屋市中区栄二丁目4番18号
創業	寛文9年(1669年)
設立	昭和12年(1937年)
資本金	91億28百万円
事業	国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業
就業人員	連結 5,126名 単体 691名
URL	<a href="https://www.okaya.co.jp/">https://www.okaya.co.jp/</a>

## 役員

(令和3年5月27日現在)

代表取締役社長	岡谷健広
代表取締役社長	馬場紀彰
副社長	平野隆裕
常務取締役	矢野光
常務取締役	坂田和
常務取締役	内田元
取締役	河佐藤
取締役	大笠野
取締役	仲宗根
取締役	犬井
取締役	長崎
取締役	今林
取締役	岡谷篤
取締役	坂井俊
取締役	島田晴
常勤監査	山田正
常勤監査	大上道
常勤監査	小栗純
常勤監査	中川宏
常勤監査	由賀

## ネットワーク

### 1. 当 社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル)
	東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 (新宿パークタワー)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、安城、 北関東(小山市)、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、東北(仙台市)、 新潟、北陸(富山市)、 中国(広島市)、九州(福岡市)

### 2. 関係会社等

#### 国 内

(株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレメック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他) 他

#### 海 外

米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、メキシコ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、タイ岡谷鋼機会社、サイアム スリヤ会社(タイ)、マレーシア岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

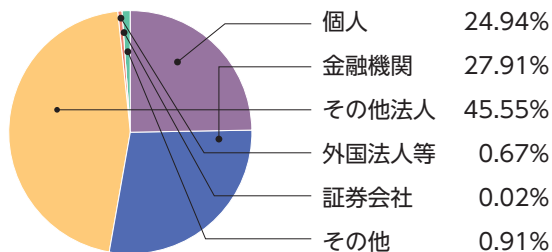
# 株式の状況 (令和3年2月28日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200株
発行済株式の総数	9,720,000株
株主数	3,886名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.01
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄株式会社	434	4.51
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	185	1.92
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式(86,952株)を控除して計算しております。  
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

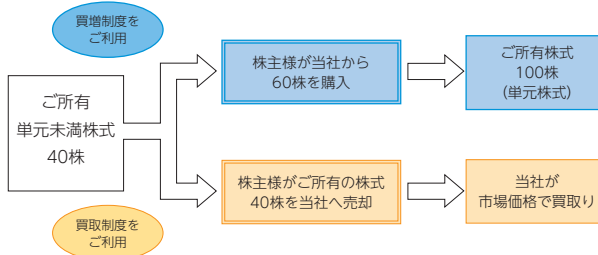
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

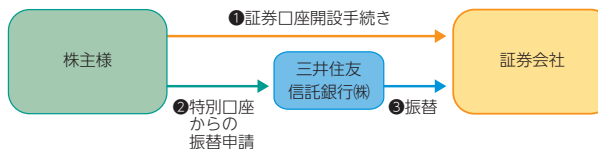
### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座  
 株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 5月  
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
 中間配当 8月31日

公告の方法 電子公告  
 ただし、電子公告によることができない  
 やむを得ない事由が生じたときは、日本  
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

[https://www.okaya.co.jp/ir/public\\_notice/](https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
 全国本支店で行っております。

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信  
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載  
 しています。  
 是非一度ご覧ください。



IR情報はここらから  
 お入りください。

・岡谷鋼機ホームページアドレス  
<https://www.okaya.co.jp/>

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>届出住所・姓名などのご変更</li> <li>配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	

## 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて  
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分  
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告  
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封  
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォント  
 を採用しています。



環境に配慮した  
 植物油インキを  
 使用しています。